

3・11 追悼せしモニー

障害者の防災を考える集い 2012年3月11日(日)



舞台背景は2日がかりで
豊橋聾学校の茨田章太君が
描いてくれました



牛タンカレー、クッキー、ストラップなど
現地から取り寄せた商品を販売



東北支援バナー

頑張れ東日本! 震災復興支援

みんなDEカオウヤ



おとなもちやれんじ



こどももちやれんじ



大好評につき完売しました
ありがとうございました



おみごと!

ジャグリング
体験コーナー



3・11追悼セミナー ②

豊障連会長
あいさつ



障害者の災害死亡率は健常者の
2倍です。東海地震に備えて、
防災意識を高めましょう



黙 祷
14:46

参加者全員が手をつないで黙祷を捧げました



保健師 花井 詠子氏
被災地支援報告

自衛隊のお風呂に
障害者が入るように支援してきました



大勢の参加者の方が真剣に話を聴きました



3・11追悼せしモニー ③



ジャグリングごっこ
Yu&Kei

お母さんとの息も
ピッタリ!

名古屋の自閉症パフォーマーYu君、大活躍!



手話ライブ ウイング



翼をください
ビリーブ
てのひらを太陽に
千の風になって

観客のみんなも参加して大盛り上がり



ご出演ありがとうございました

授産所製品のバザー好評 豊橋の さくらピア

豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で11日、「3・11追悼セレモニー」が開かれ、犠牲者をしのんだほか、被災地の授産所を支援する目的で授産所製品のバザーも行った。

同施設指定管理者の豊橋障害者（児）団体連絡協議会が「大規模災害に対して障害者はどのように備えればいいのか、家族だけでなく多くの市民に知ってもらう」と開いた。

震災から1カ月後に岩手県大槌町に派遣された市保健所保健師の花井詠子さんが講演。現地での体験を通じて、障害者を守るには、



盛況だった被災地授産所製品のバザー＝さくらピアで

どうしたらよいかなどを話した。

一方、バザーは、どの商品も好評。岩手県北上市の「野菜どっさり」のクッキー、宮城県登米市の「油麩」、福島県会津町のカボチャパイなど、20を越す商品いずれも、次々と手が伸びた。（高石昌良）

3/12 東愛知新聞